



俺のものになってよ





そうだこれ、  
お前が薦めて  
くれたやつ

すっげー  
よかった!!



そっか



まずイントロが  
疾走感あって  
かっこいいよな!!

うん

あとサビの前の  
ドラム

そうだな



なんか今日  
元気ないな

ノリ?



.....

.....



…そうか？

別に  
そんなこと  
ないよ

いや、でも…

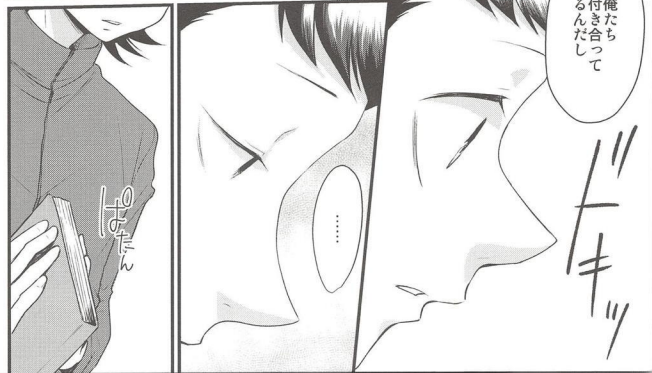
まあ、なんとも  
ないんだ

ま



でも  
何かあったら  
いつでも  
言えよ

そ、そうだ  
ほら

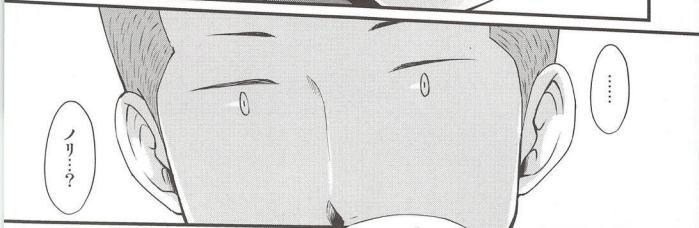
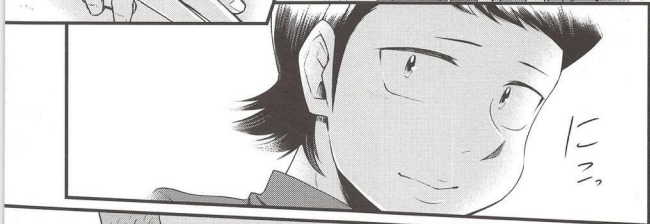


俺たち  
ち合っ  
て  
るん  
だし

ガキッ

……

ほん  
たん



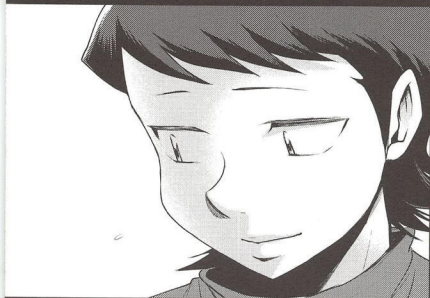
付き合ってくれと  
言ったのは

俺のほうだった

なあ白州



俺、  
お前のことが  
好きだ



え



えっ…と

俺も  
好きだぞ？

あはは



そういう事



俺  
ホモなんだよ

そう…

その…  
ほんとに俺

そ。  
ごめんな  
驚かせて

なのか

全然、気が  
つかなくて

自分でも

あーあ  
そんな  
すんなよな  
困った顔

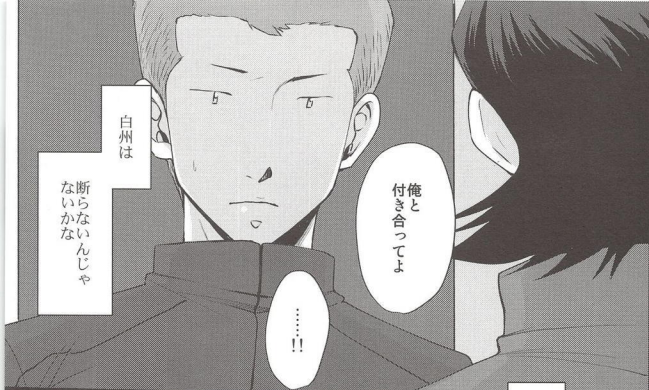
それでき  
白州

随分と思いついた  
ことをしたと思う

お願いが

でもなんとなく  
だけど





白州は

断らないんじや  
ないかな

俺と  
付き合ってよ

……  
!!



……なんて

いいや  
そんな……

付き合おうって……

思ったんだ



大丈夫

わかってるって

俺だって  
二つ返事でOKして  
もらえるなんて  
思ってたよ

真面目な  
お付き合いを  
しろって  
言ってるわけじゃ  
ないんだ

野球部  
引退するまでで  
いいんだ

親友の頼み

どうせそれまでは  
白州も彼女なんて  
作らないだろ？

聞いてやった  
だけだと思っ  
てさ

.....

...わかった

そうしようか

こうして俺は

ホッ...

白州の恋人の  
座を獲得した

そしたら  
麻生の奴が

「俺の尻は  
ドラマじゃねえ!!」  
って怒りだして…」

三年の夏まで  
という期限付きで

あつははははははは  
何やつてんだよ  
お前ら…!!

だいや  
て

関がさあ…





そろそろ  
部屋に戻って  
寝るよ

あれ、もう  
こんな時間か



あ、そうだ

どうした?



うーん、やっぱ  
なんでもない!

なんだよ  
気になるな

いや、たいした  
ことじゃ  
ないんだけどさ

俺と  
付き合ってくれて  
ありがとな!

え…  
どうしたんだ  
急に

なんだ…  
そんなの別に  
今までだって

どうも  
しないよ

やっぱり  
白州といると  
凄く楽しいから…

そうなん  
だけどさ！

今は…


白州って俺の  
彼女なんだよな  
って思ったら  
めっちゃくちゃ  
嬉しい！

…なんて  
思っちゃだめ？

いや…

そんな風に  
思ってもらえるのは  
俺も嬉しい





あのとき  
ちよつとだけ

俺と付き合つてて  
楽しいつて…  
思つただろ？

ずっと  
このままでも  
いいつて…



思つてよ  
ねえ



川上くん!!



ああ……  
いいよ別に  
気にしないで

あはっ

川上君って  
優しいね



ごめんねー

何度も  
呼び出して



……

それで  
さっそく  
なんだけと



お願い  
できちゃうん  
だけとね



だから  
こんなことも



あの手紙  
ちゃんと白州君に  
渡してくれた？





渡してない

ごめん



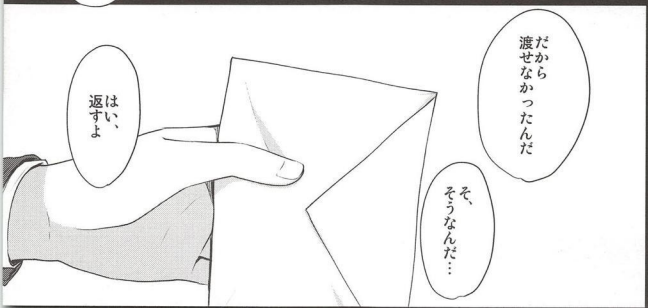
あはは

白州、今  
付き合ってる人が  
いるんだよ

いやー  
俺も最近  
知ったんだけど



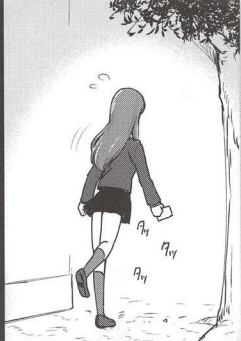
えっ……  
どうして？



はい、  
返すよ

だから  
渡せなかったんだ

そ、  
そうなんだ……



君が  
悪いんだ

お願いね

はい、これ



こんなことに  
残酷なことを  
させようとする  
君が悪い

白州が  
俺にとつて  
どんな存在か  
知らずに



傍で見て  
いられたら  
幸せだった  
だけで

それ以上なんて  
望んでなかつた

でも

誰かのものに  
なつた白州の  
顔を見れば  
毎日いいんだ

せめて

俺たちの  
青春が  
終わるまで



モグモグ

モグモグ



えっ…  
へ、変か!?



食べ物…

白州が思う  
彼氏らしい  
ことって…



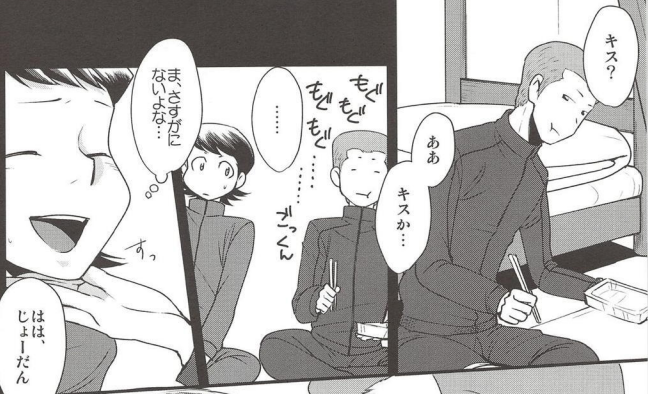
たとえは?

き、キスとか…



いや変じゃ  
ないけど…

もつと  
こうさあ…  
たとえは…



キス？

ああ

キスか…

もぐもぐ  
もぐもぐ  
もぐもぐ  
……  
……  
……

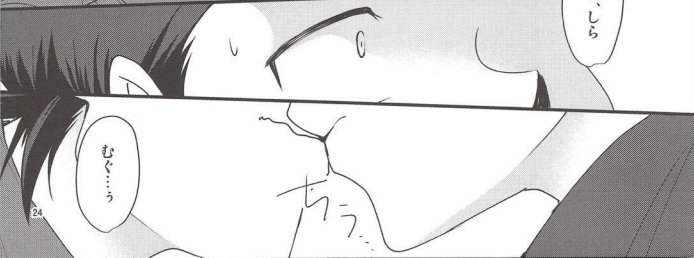
まさか  
ないよな…

すっ

はは、  
じよーだん



ちよ、しら



むぐ…う

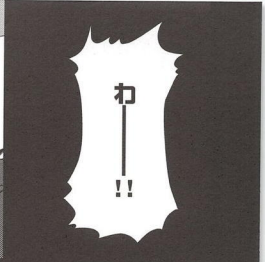
ちゅ…う



は、はは…

まさかよ…

白州って  
こういうこと  
しないイメージ  
だったけど



わ  
—  
!!



やノリが  
うれつて  
言うから

い、いや  
断れよ!!



断らないだろ  
彼氏なんだから



…



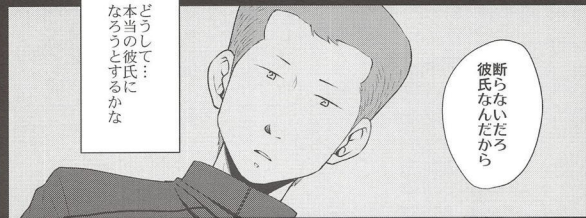
なんか…今更  
罪悪感が…

ほっすん

はあ~~~~~




どうして…  
キスしたかな



どうして…  
本当の彼氏に  
なろうとするかな

断らないだろ  
彼氏なんだから





わかってたんだ  
こういうこと  
俺には向いてない

嘘をついたり

駆け引きを  
したり



白州を誰にも  
渡したくない

白州を  
自分のものに  
したいもの



こんな  
ワガママに  
はなれない

ワガママに  
なりきれない



ごめんな  
白州



もう  
解放して  
やるからな



いや

解放  
されたいのは  
俺だ



別れる…?



どうしてだ?



いや、やっぱり  
こんなこと  
させるの

申し訳ないな  
っと思っし



3年の夏まで  
だったという話  
だったじゃないか



もともと  
期限内に意味なんて  
なかったんだよ

もう…  
満足した

まさかキスして  
もらえるなんて  
思わなかったし

良い思い出  
もらったし

これでスッパ  
リ諦めようって  
気分になった

だから  
もういいんだ

白州だって  
こんなの  
早くやめたいだろ

やめたら…





俺の前から  
消えるつもり  
なんだろう

あの時：  
もし断ったら



もともと  
3年の夏まで  
付き合ったら

そのあと  
どうなるのかも  
ずっと  
気になってたんだ



その瞬間ノリが  
居なくなってしまう  
よっな気がした



うん

全部終わって  
卒業したあとは  
連絡はとらないだ  
つ

だってこんな  
変なことして

また普通の  
友達になんて  
戻れっこない

それに…

俺じゃない誰かの  
ものになる白州なんて  
傍で見たいく  
ないんだもん

ノリ

俺は  
別れる  
気は  
ない



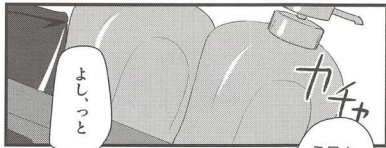


白州のやつ  
一体何が  
したいんだよ…



何がしたい、  
か…

俺は何が  
したかったん  
だろうな…



よし、っと



白州に  
見つからない  
うちに風呂だ…

おまかせ  
長まつさん

トッ  
トッ  
トッ

あ、ノリ

うわっ





こんな時間じゃ  
もう誰もいないな

そうだな…



探してたんだぞ  
早く風呂にいこう

お、おう…



デートなんて  
風呂の時からいし  
できないから  
丁度いいかもな

どうせ  
一緒に入らなら  
早く入つてれば  
よかった…

これ  
デートかよ…



…なあ、  
なんで  
別れねえの？

言っただろ  
3年の夏まで  
だからだ

だからそんなの  
もういいんだって



そんなに  
別れる別れる  
言ってる  
と彼氏は  
傷つくぞ



そんな  
顔  
するな

ち、ちが…

俺  
われた？

それは…

俺が彼氏で  
嬉しいうって  
笑って言うて  
くれたじやないか



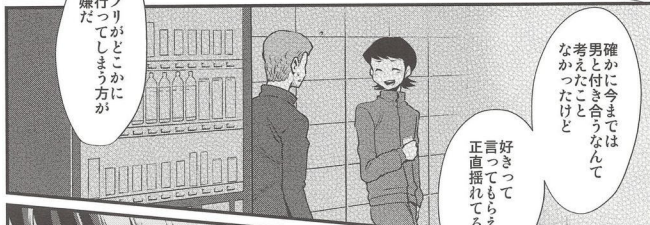
こんなことしても  
白州に迷惑かける  
だけだと思っし

実際…  
い嫌だろ



嫌じゃない

俺はあんな風に  
言ってもらえて  
嬉しかった



確かに今までは  
男と付き合うなんて  
考えたこと  
なかったけど

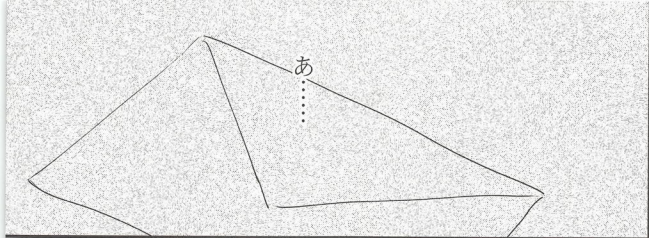
好きって  
言ってもらえて  
正直揺れてるよ

ノリがどこかに  
行ってしまう方が  
嫌だ



それに…

他に俺を好きって  
言ってくれる子が  
いるわけじゃないし





川上君のほうから  
呼び出すなんて  
めずらしいね



うん、  
ごめんね急に



それで  
用ってなあに？

じ、実は  
白州のこと  
なんだけど…

付き合ってる人が  
いるっていうの  
俺の勘違いでさ！

ごめん！

ええっ!?



だからもう一回  
あの手紙預かるよ

これいんだ  
で…

…ふーん  
そっか

でも  
もういいよ

うん  
今度こそ  
ちゃんと渡…

えっ?



もういい!?

うん

白州君は  
もういいの



なんで?  
好きなんじゃ  
ないの??

好きだったん  
だけど…

でも今は私の  
サッカー部の  
鈴木君と  
付き合ってるから





白州じゃ  
なきや…

だめなのに…

あーあ

ほんとに俺  
何やってんだらう

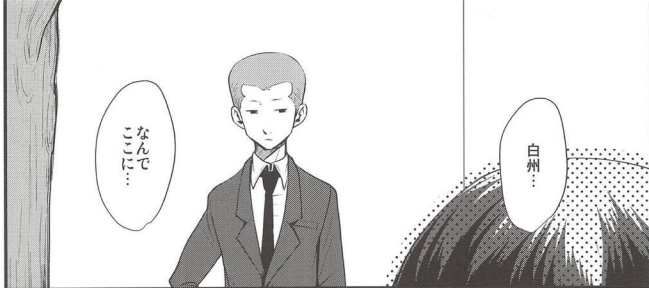
ひざ  
地面についたら  
制服汚れるぞ

え…

壁を蹴るのも  
駄目だ

嘘…

……



なんで  
ここに…

白州…



昼飯、一緒に  
食おうと  
思ってたのに

授業が終わった  
とたんに教室から  
出ていくから  
追いかけてきた

じゃあ  
今のやり取りも  
聞かれてた  
まづい

もう何もかも

終わった

こういうこと  
だったんだな



手紙を渡したと  
嘘をついても  
付き合っても  
人があるという  
嘘をついても

あの子が  
俺に確かめれば  
いずれバレる

かといって手紙を  
渡すのはできない  
ならもう一つの嘘を  
本当にするしかない

だから  
条件付きで  
俺に付き合えと  
言った



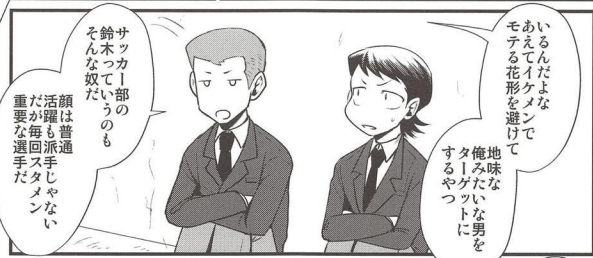
そうだよな!!

えっ  
あ、ああ…



ていうか  
あの女子…  
ちよつと  
軽すぎないか?

ていうか



サッカー部の  
鈴木って奴の  
そんな奴だ

顔は普通  
活躍も派手じゃない  
だが毎回スタメン  
重要な選手だ

いるんだよな  
あえてイケメンで  
モテる花形を避けて

地味な  
俺みたいな男を  
ターゲットに  
するやつ



私はその辺の  
女と違って  
わかっているのよ

そう  
言いたいだけの  
アクセサリー

俺のことが  
好きだって  
いっても結局

誰でも  
いいんだよ  
ああいう女は



今このくらい  
言っておかないと  
不安になるだろ



さ、さすがに  
ちよつと  
言いすぎだろ!!

そうか?



今、ちゃんと  
俺はお前を  
選んだよ



他に好きだと  
言ってくれる人が  
いないからじゃない

あの女子のことは  
もう何も  
気にしなくていい



俺はお前と  
付き合っていたい



ほ、ほんとに  
俺なんかで  
いいの…？



俺はノリが  
いいんだ

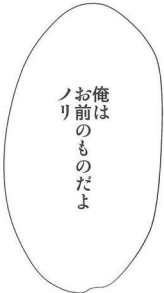
もう嘘も  
かけひきも  
なしだ



し、白州…

苦しい思いを  
させて  
すまなかった

もう…  
安心していい



俺は  
お前の  
ものだよ  
ノリ

「俺のものになってよ」  
2016年8月12日発行  
DreamingAnt  
<http://da.chew.jp/>

印刷：ラック出版

Shirasu × Kawakami

2016.8.12  
DreamingAnt

